

——暗号と情報セキュリティ小特集
(英文論文誌 A) 論文募集——

暗号と情報セキュリティ小特集編集委員会

基礎・境界サイエティでは、英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals において、「暗号と情報セキュリティ小特集」(Special Section on Cryptography and Information Security) を 2014 年 1 月号に掲載する予定で企画しています。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。特に、2013 年 1 月下旬に本会情報セキュリティ研究専門委員会が主催する「2013 年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2013)」での発表論文の積極的な御投稿をお願いします。なお、同名同目的の小特集は、1990 年 7 月号、1991 年 8 月号、1993 年から 2012 年の各 1 月号及び 2013 年 1 月号に掲載実績があります。

1. 対象分野

暗号及び情報セキュリティに関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野。

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

論文の投稿規程は、電子情報通信学会の Web サイト「The Information for Authors」(“http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html”) を御参照下さい。フォーマットは同 Web サイトの 3 章「Manuscript Style Specifications」を御参照下さい。なお、刷り上がりのページ数は、本論文の場合 8 ページ、レターの場合 2 ページを基準とします。

また、“http://www.ieice.org/eng/ads.html” にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。

3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

1. 電子情報通信学会 Web サイト “https://review.ieice.org/regist_e.aspx” を使って投稿して下さい。Type of issue (section)/Category of Transactions では [Special-EA] Cryptography and Information Security を選択して下さい。[Regular-EA] Fundamentals は選択しないで下さい。
2. “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript” を下記住所へ送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 2013 年 3 月 22 日 (金) 必着

“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript” がこの期日までに下記送付先 (寺西) に届くようにして下さい。

5. 採否判定通知

著者には 2013 年 8 月中旬頃までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代 (別刷 50 部含) をお支払い頂きます。

6. 送付先及び問合せ先

寺西 勇 NEC 情報・ナレッジ研究所 セキュアシステム TG
〒211-8666 川崎市中原区下沼部 1753 SC 棟 12 階南側 N7

TEL [044] 396-3131, FAX [044] 431-7680

E-mail: teranisi@ah.jp.nec.com

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

7. 小特集編集委員会

委員長 田中俊昭 (KDDI 研)

委員 有田正剛 (情報セキュリティ大), 伊豆哲也 (富士通研), 岩田 哲 (名大), 岡本 健 (筑波技大), 桶屋勝幸 (ルネサスエレクトロニクス), 河内亮周 (東工大), 菊池浩明 (東海大), 清本晋作 (KDDI 研), 國廣 昇 (東大), 桑門秀典 (神戸大), 小池正修 (東芝ソリューション), 境 隆一 (阪電通大), 崎山一男 (電通大), 佐々木 悠 (NTT), 四方順司 (横浜国大), 渋谷香士 (ソニー), 手塚 悟 (東京工科大), 時田俊雄 (三菱電機), 中西 透 (岡山山), 花岡悟一郎 (産総研), 花谷嘉一 (東芝), 廣瀬勝一 (福井大), 本間尚文 (東北大), 松尾和人 (神奈川大), 松尾真一郎 (NICT), 松崎なつめ (パナソニック), 宮地充子 (北陸先端大), 安永憲司 (九州先端研), 吉田真紀 (阪大)

幹事 金岡 晃 (筑波大), 寺西 勇 (NEC)

——システム数理学と応用小特集
(英文論文誌 A) 論文募集——

システム数理学と応用小特集編集委員会

システム数理学は、数理モデルに基づいた設計、解析、検証、制御のための方法論を研究する分野であり、サイバーフィジカルシステム、人間-機械システム、オープンシステムサイエンス、システムバイオロジーなど、最近注目されている様々なシステムに応用することができます。

そこで、システム数理学とその応用に関して、最新の成果や将来の課題を展望することを目的として、小特集 (平成 26 年 2 月) を企画しました。皆様の積極的な御投稿をお願いします。

1. 対象分野

システム数理学の基礎理論、それに基づいた解析、設計、検証、制御のための方法論、各種応用事例に関する研究成果を期待します。

- (1) システム理論 (ペトリネット, コンカレントシステム, 離散事象システム, ハイブリッドシステム)
- (2) システム設計・検証 (モデル検査, 証明系, スケジューリング, スーパーバイザ制御)
- (3) サイバーフィジカルシステム (組込みシステム, リアルタイムシステム)
- (4) ヒューマンファクタの数理 (人間行動の解析とモデル化, ビジネスプロセス, サービスサイエンス)
- (5) 新しい数理的手法 (オープンシステムサイエンス, システムバイオロジー)
- (6) システム数理的手法の応用・ケーススタディ (マルチカーエレベータ, 生産システム, 交通システム, 企業情報システム)

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の英文論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内、レターは 2 ページ以内とします。詳細は、「投稿のしおり」http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html を御参照下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist_e.aspx で行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”については “[Special-EA] Mathematical Systems Science and its Applications” を選択して下さい。“[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先（ゲストエディタ）まで E-mail, FAX, 郵送のいずれかによりお送り下さい。

橋爪 進 名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻
〒464-8603 名古屋市中種区不老町
TEL [052] 789-3594, FAX [052] 789-3267
E-mail: hashi@nuce.nagoya-u.ac.jp
郵送の場合には、封筒には「システム数理学と応用小特集」と朱書して下さい。

・本小特集に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも1名は電子情報通信学会の会員である必要があります。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

3. 査読後の再提出（条件付採録）

期間が通常の60日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。採録若しくは不採録通知は平成25年10月上旬までにお知らせする予定です。採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。なお、論文採録の場合は掲載別刷代が必要となります。

4. 論文投稿締切日 平成25年3月31日（日）必着

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ：橋爪 進（名大）

編集委員：磯部祥尚（産総研）、太田 淳（愛知県立大）、北村聖一（三菱電機）、田岡智志（広島大）、土屋達弘（阪大）、名嘉村盛和（琉球大）、宮本俊幸（阪大）、山口真悟（山口大）、山崎達志（撰南大）、山根 智（金沢大）

——通信技術の革新を担う学生論文特集

（和文論文誌 B）論文募集——

通信技術の革新を担う学生論文特集編集委員会

ますます高度化する通信技術の世界で、日本のプレゼンスを継続的に向上させていくには、進取の気概にあふれる若手研究者を育成することが重要です。和文論文誌は、その一助となるべく学生に活躍の場を提供し、次世代を担う若手研究者を涵養するとともに通信分野活性化の契機となるよう学生が執筆した論文の特集号を発行します。本特集は6回目を迎え、これまで5回の学生特集では、多くの投稿を頂いてきました。

対象とする分野は通信技術全般とし、論文の筆頭著者を学生または学生のときの成果に限定し、年度内の発行（2014年2月号）とすることで、研究開発活動をより円滑に継続できることに配慮しています。博士課程学生、修士課程学生、学部生、更には社会人博士課程等の学生の皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用

し論文発表されることを期待致します。

1. 対象分野

【通信技術全般】（和文論文誌 B が対象とする全技術分野）

基礎理論、通信デバイス・回路、伝送方式・機器、光ファイバ、光ファイバ伝送、交換、移動体交換方式、ネットワーク、ネットワーク管理・オペレーション、インターネット、無線通信技術、地上無線通信、衛星通信、光無線通信、アンテナ・伝搬、電磁環境・EMC、計測・探査、航行・誘導・制御方式、電子通信エネルギー、端末、マルチメディアシステム、放送システム、総合システム、宇宙利用システム

2. 対象論文

大学等に籍を置く学生（大学院生・社会人学生を含む）が筆頭著者である論文に限ります。ただし、投稿時点で大学等を卒業若しくは修了していたとしても、学生の時に行った研究（ただし5年以内）であれば受け付けることとします。

3. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆、査読の取扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

・論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 主なスケジュール

投稿締切日	2013年5月23日（木）厳守
初回判定通知	2013年7月中旬を予定
最終判定通知	2013年10月中旬を予定
発行月	2014年2月号

5. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification of completion for Temporary Registration）が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正／削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
郵送の場合は、封筒に「学生論文特集」と朱記して下さい。
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-b@ieice.org

6. 特集編集委員会

委員長 高橋応明（千葉大）
幹事 佐波孝彦（千葉工大）
委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

7. 連絡先

佐波孝彦 (千葉工業大学情報工学科)
TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549
E-mail : saba@m.ieice.org

——次世代電子機器を支える三次元積層技術と 先端実装の設計・評価技術特集

(和文論文誌 C) 論文募集——

次世代電子機器を支える三次元積層技術と
先端実装の設計・評価技術特集編集委員会

スマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器の普及に伴い、高速・低電力・高帯域幅ロジック／メモリシステムに加えて、高精細小形カメラモジュール、高周波無線通信システム、MEMS 技術を用いた各種センサ、薄形ディスプレイなどが急速に進化しています。次世代の電子機器では更なる利便性が求められ、今後も軽薄短小化、高速動作化、高機能化を可能とする先端実装技術が要求されてきます。

これまで集積回路の高性能化は半導体素子の微細化により達成されてきました。しかし、この高性能化によりチップの消費電力が激増しており、微細化を実現するための加工技術も限界に近づいています。従来の平面に構成された集積回路では、機能ブロック間の長い電気配線を用いてチップ駆動するために膨大な電力を必要とします。この配線負荷を軽減するため、デバイスや回路ブロックを分割して立体的に積層し、シリコン貫通配線 (TSV) で接続する三次元実装技術などに近年非常に大きな期待がかかっています。また、異種デバイスを高密度に実装し、システム全体で高性能化を図るシステムインテグレーション技術にも高い注目が集まり、異分野融合がブレークスルーを創出する鍵になると言われています。

本特集では、次世代の電子機器をけん引する高密度実装技術 (三次元実装にかかわらず、電子部品実装、光回路実装、環境調和型実装、プリンタブルデバイス実装なども含む) とそれらの信頼性を担う先端の設計・解析・評価技術に焦点を置き、この研究分野における研究開発を更に進展させることを目的として、研究成果を集約した特集の企画を行いました。平成 25 年 11 月号の発行を予定していますので、多くの方々の積極的な投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・三次元チップ積層技術
- ・シリコン貫通配線 (Through-Si Via: TSV) 形成技術 (電解／無電解めっき, スパッタ, 絶縁膜形成等)
- ・バンブ形成技術, 低温接合技術, ソルダレス接続技術
- ・ウェーハ薄化技術, CMP 技術
- ・洗浄及びウエットエッチング技術
- ・フラックスレス及び無洗浄ソルダーリング技術
- ・ウェーハ接合技術及びチップ／ウェーハ接合技術
- ・フリップチップ実装技術
- ・アンダーフィル技術及びモールド技術
- ・テンポラリー接合技術 (接着及び剥離技術)
- ・高温はんだ及び鉛フリーはんだ技術
- ・システムインパッケージ技術
- ・ウェーハレベルパッケージ技術
- ・部品内蔵基板技術
- ・シリコン及び有機基板インタポーザ技術

- ・評価及びシミュレーション技術
- ・信頼性解析及び分析技術
- ・実装設計技術
- ・放熱及び水冷技術
- ・材料技術
- ・光回路実装技術
- ・光／電気複合実装技術
- ・フレキシブル／プリントドエレクトロニクス技術
- ・MEMS 実装技術
- ・環境調和型実装技術
- ・受動素子実装技術
- ・LED 実装技術
- ・SiC/GaN 等, パワーデバイス技術
- ・太陽電池等, 環境発電デバイス技術
- ・燃料電池等, バッテリー技術
- ・有機 EL 等, ディスプレイ技術

2. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 28 日 (木) 必着

3. 論文投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付 (推奨), FAX, 郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿 (ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616 E-mail : wabun-c@ieice.org

4. 問合せ先

福島誉史 東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
TEL [022] 795-4119, FAX [022] 795-6907
E-mail : fukushima@bmi.niche.tohoku.ac.jp

5. 特集編集委員会

編集委員長 高橋健司 (東芝)
編集幹事 福島誉史 (東北大), 久我宣裕 (横浜国大)
編集委員 井上雅博 (群馬大), 奥洞明彦 (ソニー), 重藤暁津 (物質・材料研究機構), 末益龍夫 (フジクラ), 須藤俊夫 (芝浦工大), 谷 元昭 (富士通研), 乃万裕一 (日本 IBM), 橋本 薫 (明星大), 畑尾卓也 (住友ベークライト), 畠山友行 (富山県立大), 廣畑賢治 (東芝), 三橋敏郎 (超先端電子技術開発機構), 渡辺直也 (産総研)

——大学発マイクロ波論文特集

(和文論文誌 C) 論文募集——

大学発マイクロ波論文特集編集委員会

近年の携帯電話、無線 LAN などに代表されるワイヤレス情報通信機器の飛躍の普及に伴い、マイクロ波・ミリ波帯におけるデバイス、回路、システム等の技術は急速に進歩し続けております。更には無線電力伝送等の新しいマイクロ波応用分野が拡大しつつあり、将来に向けてより高度な技術が求められております。こうした要求に対して、大学等の教育研究機関による基礎的研究、産業界との共同研究の推進は、技術的貢献のみならず若手技術者の育成などの面でも、この分野の発展に大きく寄与することは言うまでもありません。そこで、和文論文誌 C 分冊では、大学をはじめとする教育機関が主体となって行われた研究、開発成果を集約した「大学発マイクロ波論文特集」(平成 25 年 12 月)の発行を企画致しました。本特集の目的は、教育機関でのマイクロ波・ミリ波技術の基礎研究から応用研究にわたる優れた研究成果を発掘し、それらの成果を、産業界をはじめとする幅広い分野の方々を紹介することとしております。対象分野は、各種回路、アンテナ、通信システム、シミュレーション技術、測定評価技術などマイクロ波・ミリ波技術全般としておりますので、教育機関の皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波技術全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・能動回路・受動回路・アンテナ
- ・通信システム
- ・測定評価技術
- ・シミュレーション技術
- ・マイクロ波・ミリ波応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は、「和文論文誌 C 投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する機会があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 29 日(金)必着

4. 論文投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿(ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

石川 亮 電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL [042] 443-5788, FAX [042] 443-5230

E-mail: r.ishikawa@uec.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 本城和彦(電通大)

幹事 石川 亮(電通大)

編集委員 石崎俊雄(龍谷大)、伊東健治(金沢工大)、加屋野博幸(東芝)、河合 正(兵庫県立大)、久保徳郎(富士通研)、佐藤 圭(NTT ドコモ)、清水隆志(宇都宮大)、津留正臣(三菱電機)、山之内慎吾(NEC)

——電磁界理論の進展とその応用小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

電磁界理論の進展とその応用小特集編集委員会

近年、メタマテリアル、大規模構造の散乱問題、更には光通信システムにおける伝搬解析など、電磁界理論を中心とした応用技術がますます盛んになってきています。電磁界理論研究専門委員会では、電磁界理論の進展とその応用に関する最近の新しい研究成果を総括することを目的として、平成 24 年 11 月 15 日(木)～17 日(土)に熊本県で開催された「電磁界理論シンポジウム」の研究会での発表を中心に、「電磁界理論の進展とその応用」小特集“Special Section on Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application”(平成 26 年 1 月号)を企画しました。また、本小特集では、これらの関連の国際会議(2012 AP-S and URSI, PIERS 2012, ISAP2012)等での発表成果を発展させた論文も受け付けます。

1. 対象分野

以下に示すような電磁界理論の進展とその応用に関する分野を含め、これ以外の分野も投稿可能です。

電磁界理論(基礎理論)/放射・伝搬/電磁現象/散乱・回折/レーザ断面積/アンテナ理論/リモートセンシング/信号処理/数学的解析理論と応用/周期構造/数値解法理論/計算電磁気学/ランダム媒質・粗面/量子電磁力学/キラル媒質/非線形媒質/メタマテリアル/電磁環境/時間領域解析/生体への電磁波応用/高周波漸近解法/波動情報処理/逆問題・逆散乱/他系との結合理論と解析/光・マイクロ波・ミリ波導波路/非線形問題(電子波・X線導波路含む)

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。ただし、論文誌の掲載ページ数は、ペーパーは 8 ページ以内、ブリーフペーパーは 4 ページ以内(厳守)を原則と致します。なお査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記に従いくれぐれも間違いのないようお願い致します。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。次の手順で、投稿を進めて下さい。

手順 1: 電子投稿 論文の仮登録と論文(図、表を含む)の電子

ファイルを学会の Web ページ (https://review.ieice.org/regist_e.aspx) でアップロードして下さい。なお、Web での登録にあたり、“Type of Issue(Section)/Category of Transactions”は、“[Special-EC] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application”を選択して下さい。[Regular-EC] を選ばないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書の送付 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付, FAX, または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 4 月 5 日 (金) 必着

5. 送付先及び問合せ先

安藤芳晃 電気通信大学大学院情報理工学研究所情報・通信工学専攻

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL & FAX [042] 443-5160

E-mail: y-ando@uec.ac.jp

6. 小特集編集委員会

Guest Editors-in-Chief (2 名)

西本昌彦 (熊本大), 白井 宏 (中央大)

Secretaries (2 名)

安藤芳晃 (電通大), 平山浩一 (北見工大)

Guest Associate Editors (15 名)

稲沢良夫 (三菱電機), 上田哲也 (京都工繊大), 大久保 寛 (首都大東京), 大貫進一郎 (日大), 柏 達也 (北見工大), 木寺正平 (電通大), 黒田道子 (東京工科大), 佐藤亮一 (新潟大), 田中雅宏 (岐阜大), 中嶋徳正 (福岡工大), 平野拓一 (東工大), 藤崎清孝 (九大), 森本健志 (近畿大), 横田光広 (宮崎大), 渡辺仰基 (福岡工大)

7. 付記

*本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 (<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)

複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619